2019 年度事業報告　　認定 NPO 法人わかやま NPO センター

◆ **総括**

2019 年度は、「時代に適応する新しい“NPO 中間支援組織”をめざす」という基本方針に基づき、4 つの事業方針を掲げました。

- **ミッションの再確認としなやかな組織運営**
- **市民活動等の担い手の発掘**
- **NPO 支援体制の充実と組織体制の強化**
- **和歌山県 NPO サポートセンターの事業継続**

NPO の資金不足や後継者不足、地域づくりの担い手不足が各地で叫ばれるなか、わかやま NPO センターは時代の変化にどう対応していけばいいかを模索しながらの 1 年となりました。

詳細は後述しますが、2019 年度は国連 SDGs（持続可能な開発目標）を共通のキーワードとした産官学民の連携の機会に恵まれ、大きな手応えを得ることができました。また、経済団体との連携を深め、2020 年度の事業に向けた「種まき」もおこないました。

みなさまからのご寄附を原資にまちづくりに取り組む人材を育成する「わかやま・ひとづくり塾」を契機に、和歌山市内の NPO・ボランティア団体と和歌山市議会議員の交流の場を生み出そうという流れが生まれたり、指定管理者として運営を受託している和歌山県 NPO サポートセンターでのスタッフの活躍により異なる団体・業種同士の連携・協働が生まれたり、と、わかやま NPO センターとスタッフが有する豊富なネットワークが様々な形で実を結びました。

単なる NPO 支援だけではなく、その次を見据えた事業展開の手がかりをえることができた、そんな 1 年となったと考えています。

個別計画に対する成果は以下のとおりです。

【1】地域へ

[1] 和歌山県 NPO サポートセンター　指定管理者による運営

年度当初は印刷機等の機器利用（**下写真**）をはじめ、前年比を上回る来館者を得て、好調な滑り出しをみせましたが、2020 年に入り、Covid-19（新型コロナウイルス感染症）感染拡大への警戒感から、会議室の利用が大幅に減少し、2 月・3 月の来館者数は前年同月比で半数以下に落ち込み、年間を通しても前年比 1 割の減少となりました。また、一部の事業は延期・中止を余儀なくされています。

しかし、NPO サポートセンターに寄せられた相談案件に基づき、他団体等を紹介することで新たな事業を生み出す「マッチング」の数は過去最高を記録しました。また来館者数の減少にも関わらず電話相談件数は昨年並みとなったほか、年度後半には NPO 設立に関する相談が増加するなど、NPO サポートセンターが県内の NPO のみなさんにとって欠かせない存在であることは代わりがありません。

また、企業のプロボノのご協力を得て、過去 5 年間程度の相談内容のデータベース化が概ね完了し、団体ごとの相談案件を容易に調べることが

できるようになるなど、相談の品質向上にも務めました。

NPO サポートセンターの 2019 年度事業報告については縮刷版をこの事業報告の後に添付しております。

[2] 各種情報発信による市民活動支援の実施

日刊わかやま新報隔週金曜連載の NPO 紙面「わかつく」**（下写真）**では、和歌山市を中心とした様々な市民活動の事例と、NPO やボランティア団体を取り巻く情勢、まちづくりに関する情報などを掲載し、市民活動に対する興味喚起に努めました。また、過去の掲載記事は PDF にて公開しています。

このほか、情報ブログ、わかやま NPO センターFacebook ページ、和歌山県 NPO サポートセンター情報紙「わか愛愛」やメールマガジンなどでも、わかやま NPO センターや和歌山県 NPO サポートセンターの取り組み、各種 NPO やボランティア団体のイベント等の情報、NPO やボランティア団体向けの助成金等の支援情報などの情報発信を実施しました。

[3] NPO 等の持続可能な組織運営の支援

和歌山県内の 2 つの NPO 法人の組織運営実務の支援を伴走型でおこないました。Covid-19 感染禍のなかでも団体のミッション達成のために必要な事業についてはインターネット配信などを使って実施する仕組みを提案するなど、団体の特性を発揮するよう務めました。

また、NPO の組織運営実務への支援をおこなう「全国 NPO 事務支援カンファレンス」、NPO 法人の会計基準策定と普及に取り組む「NPO 法人会計基準協議会」、NPO 法人の会計能力向上に取り組む「NPO 法人会計力検定協会」などとも連携し、NPO 法人の実務能力向上に向けた取り組みの推進や PR などを実施しました。

[4] 地域づくりコーディネート事業

2018 年度に採択された 3 名の「地域づくりコーディネーター」（橋本市城山台地区、高野町冨貴地区、白浜町市鹿野地区）に対して 2 年目の支援を実施し、各地で地域づくり活動の継続を図りました。

[5] 和歌山県人権尊重のまちづくり協定

和歌山県人権施策推進課との間で締結している「人権尊重のまちづくり協定」に基づき、同課からの情報を職員間で共有したほか、指定管理施設での人権研修、外部での人権研修への参加など、従来以上に人権意識向上に対する取り組みを進めました。

【2】育てる――NPO に携わる人材の発掘に努めます

[1] 地域フォーラム事業

和歌山県内の公益活動活性化のためにいただいたご寄付、通称「湯川基金」を原資に、地域づくり活動に取り組む団体への助成事業として「地域フォーラム事業」を実施し、国士舘大学和歌山同窓会（防災学習会）、NPO 法人ワンニャン会（「地域猫」啓発を図る写真展）、下津 DHC クラブ（小学校でのモンゴル伝統楽器演奏会：**右写真**）、合同会社未来サントラ研究所（若者のキャリア形成を考える学習会）の開催を支援しました。

[2] NPO に関わる人材育成「わかやま・ひとづくり塾」

今年度は、① 寄附金の獲得について（講師：NPO 法人しみん基金 KOBE・江口總さん）、② NPO と地方議員との関わりについて（講師：NPO 法人浜松 NPO ネットワークセンター・小林芽里さん）、の２つのテーマで学習会を開催しました。

このうち「NPO と地方議員との関わり」の講座をきっかけに、和歌山市内の NPO・ボランティア団体と和歌山市議会議員の間の意見交換会を開催したいという声を参加者からいただき、2020 年度内の試行開催を目指して準備をおこなうこととなりました。

[3] 国連 SDGs に関する情報発信

2019 年度は JICA が関西 2 府 4 県を巡回する形で開催している SDGs に関する学習会（運営：NPO 法人関西 NGO 協議会）が和歌山県において開催されました。この学習会にわかやま NPO センターは地元側のホストとして運営に参画し、産官学民あわせて 50 名の参加を得ることができました **(下写真)**。学習会だけではなくその後の意見交換会で実際に SDGs に取り組む事業者・団体同士の連携・協働の種が多数生まれました。なかには新たな事業化に向けた検討が進められているものもあり、大きな成果を上げることができました。

これを大きな契機に、わかやま NPO センター、和歌山県 NPO サポートセンターが開催する様々な事業において折に触れて SDGs に関する情報発信をおこなったほか、県内各地の SDGs に関する学習会に役職員が講師として参画するなど、幅広い形で SDGs に触れていただく機会を提供することができました。

[4] 休眠預金等活用制度の動向研究

2019 年度から休眠預金等を原資に NPO 等に助成を実施する「資金分配団体」の募集と「資金分配団体」が助成先となる「実行団体」の募集が始まりました。

わかやま NPO センターは現時点では資金分配団体・実行団体ともに関わりはありませんが、他の NPO 支援センターなどとも連携し、情報収集と発信をおこないました。

[5] 会員 NPO への ICT 支援

NPO・ボランティア団体の間では ICT 導入がなかなか進んでいないことから、会員 NPO に対する ICT 支援策の検討を実施しましたが、十分な事業立案には至らず、2019 年度は事例が 1 件にとどまりました。

[6] NPO の事業評価の研究

休眠預金等活用制度の事業計画が当初予定よりも遅れたこともあり、社会的インパクト評価等のツールの公開も遅れています。

こうしたことから、NPO の事業評価について具体的な研究には至っていませんが、評価の前提となる「ロジックモデル」の構築についての調査について徐々に進めています。

【3】結ぶ

[1] NPO 同士や市民セクターとのマッチングの強化

和歌山県 NPO サポートセンターでは、和歌山県が定める「地方創生に関わる目標達成（他団体等との連携・協働による新規事業の創出件数）」に

に関わっており、相談件数 105 件に対してマッチング 48 件、ミスマッチ 32 件、次年度持ち越し 25 件と、マッチング件数が前年を大きく上回り、これまでの相談事例の積み重ねが活きることとなりました。

このほか、NPO サポートセンター外の事業においても、他団体との連携・協働を必要とする団体があった場合は積極的に場を提供し、必要に応じて NPO サポートセンターの保有する情報に結ぶなど、法人全体でマッチングに取り組みました。

[2] 行政機関等との連携・協働

橋本市が橋本市社会福祉協議会を指定管理者に指定して運営している「橋本市市民活動サポートセンター」に対して相談員を毎月 2 回派遣したほか、和歌山市、田辺市、橋本市に対して、各種委員や職員研修・市民向け講座の講師を派遣しました。

また田辺市・橋本市においては特に、自治会・町内会の枠を超えてまちづくりについて考える「地域運営組織」の組織化に対するアドバイスや情報提供を実施しています。

[3]企業等との連携・協働

2019 年度の企業等との連携・協働の主な実績は以下のとおりです。

1）近畿労働金庫社会貢献預金「笑顔プラス」寄附事業

近畿労働金庫が発売している社会貢献預金「笑顔プラス」からのご寄附を原資に、和歌山県内における防災・減災の取り組みを実施しました。

・和歌山城砂の丸広場で開催された「労働者福祉まつり」への防災工作のブース出展

・田辺市で、気象予報士資格を持つ和歌山放送新宮支局・引本孝之さんをお招きした防災講座の開催**（右上写真）**

2）近畿労働金庫 NPO パートナーシップ制度事業

近畿労働金庫が関西 2 府 4 県の NPO 支援機関と連携して、様々な地域課題解決に取り組む事業です。2019 年度は、関西共通企画として「地域の居場所」の運営に取り組む団体の支援事業として、県内 4 団体の代表者を招いた学習会、ミニシンポジウムを開催しました。

3）花王ハートポケット倶楽部

花王グループの社員のみなさん有志が 1 口 50 円を積み立てて造成した基金を地域の NPO 等に助成するプログラムです。花王の基幹工場が立地する和歌山県内の NPO･ボランティア団体に対しては 11 年目の地域助成プログラムとなり、昨年を上回る史上最多の助成申請をいただきました。

審査の結果、スタートアップ助成（設立 2 年以内の団体向け・5 万円）4 団体、パワーアップ助成（設立 2 年以上の団体向け・10 万円）3 団体を決定しました。

4）SAVE JAPAN プロジェクト

損保ジャパン日本興亜と日本 NPO センターが全国事務局を担当し、全国の希少生物酒の保全などに取り組む環境 NPO と地域の NPO 支援センターが連携し、環境保全プログラムを実施するものです。2018-2019 シーズン（対象期間：2018 年 10 月～2019 年 9 月）の残る 1 回を 4 月に開催しました。

5）明治ホールディングス選択寄附制度

明治製菓を傘下に持つ明治ホールディングス株式会社が、株主優待として配布しているお菓子等のうち、株主のみなさんの希望があった分のお菓子等を、各地の福祉施設や、東日本大震災から

の広域避難をされている団体等を対象に寄贈するプログラムです。

和歌山県内の対象団体に関する照会に対して団体を推薦し、和歌山県内 3 団体に寄贈が実現しました。

6）和歌山ライオンズクラブ 60 周年記念助成事業

和歌山ライオンズクラブ設立から 60 周年を記念し、和歌山県内の NPO・ボランティア団体を対象にはじめて実施した助成事業の告知・運営に協力しました。

【4】開く

[1] 政策提言（アドボカシー）

NPO 法や NPO 法人をとりまく環境の変化に対応するための取り組み（各種制度の改善に向けたアンケート調査やヒアリング、事例提供等）に積極的に参画したほか、先述の通り、県内自治体に対しても、NPO センターが有する知見やノウハウを提供しました。

[2] 地方議員とのネットワークづくり・研究会への取り組み

先述の「わかやま・ひとづくり塾」と重複しますが、2020 年度内に和歌山市内の NPO・ボランティア団体と和歌山市議会議員との間で意見交換会を試行できるよう準備をすすめることとなりました。

【5】育む

[1] 財政基盤の強化

2018 年 10 月に認定 NPO 法人となったわかやま NPO センターでは、役職員が連携しながら、寄附金や 2 口以上の正会員、3 口以上の賛助会員としてご協力いただける方を増やし、2019 年度は「認定 NPO 法人」の維持に必要なパブリックサポートテスト（幅広く寄附金を集めているかを示す指標）は 113 名と、2018 年度との 2 年間平均で 100 名を超えることができました。

今後も引き続き、ご寄附等で応援いただける方の拡大に努めます。

[2] 法令順守に基づくガバナンス強化

2019 年 4 月に、わかやま NPO センター内の諸規定を大きく見直したほか、年度を通じて会計や稟議等の各種書式の整備をおこないました。意思決定・収入・支出の管理をより適切に実施する環境が整い、ガバナンス強化につなげることができました。

2019 年度　活動のあしあと

わかやま NPO センター主催もしくはわかやま NPO センターの役職員が関係した主な事業をご紹介します。

- **4 月**
  - 20 日　SAVE JAPAN プロジェクト第 3 回
  - 23 日　理事会
- **5 月**
  - 20 日　木の国協議会委員派遣（岩出市）
  - 22 日　全国 NPO 事務支援カンファレンス世話役人会（岡山市）
  - 23日　田辺市みんなでまちづくり補助金審査委員派遣
  - 24 日　わかやま NPO センター通常総会
  - 31 日　和歌山市協働推進委員会
- **6 月**
  - 13 日　近畿労働金庫 NPO 支援センター連絡会議
  - 17 日　和歌山市 NPO ボランティア推進協議会
  - 19 日・20 日　全国 NPO 事務支援カンファレンス総会・学習会（東京）
  - 20 日・21 日　NPO 支援センター初任者研修（東京）

- 24 日　木の国協議会 委員派遣（岩出市）
- 25 日　理事会
- 26 日　橋本市地域づくり活動交付金事業審査会
- 29 日　橋本市おはなしサロン

・ 7 月

- 4 日　フィランソロピー・CSR リンクアップフォーラム　防災部会（大阪）
- 5 日　和歌山市職員研修
- 8 日　木の国協議会 委員派遣（岩出市）
- 16 日　海南市社会福祉協議会出張講座
- 20 日　橋本市おはなしサロン
- 23 日　和歌山市協働推進委員会

・ 8 月

- 2 日　和歌山県災害ボランティアセンター ワーキングチーム会議
- 4 日　居場所サミット（神戸市）
- 20 日　インターンシップ受入（～9 月 11 日）
- 22 日　NPO 基礎講座・ソーシャルメディアことはじめ
- 28 日　理事会
- 30 日　JICA・関西 NGO 協議会 SDGs 講座

・ 9 月

- 17 日　地域フォーラムヒアリング
- 19 日・20 日　NPO 支援センターCEO 会議（オンライン参加）
- 26 日　近畿労働金庫 NPO 支援センター連絡会議（大阪市）
- 27 日　木の国協議会（岩出市）
- 29 日　田辺市市民活動まつり
- 30 日　和歌山市 NPO ボランティア推進協議会、紀州っ子アドベンチャーフェスタ実行委員会

・ 10 月

- 4 日　Yahoo！基金「書く講座」（東京）
- 5 日　NPO 基礎講座「ファンドレイジングを学ぼう」（ゲストハウス Rico）
- 11 日　和歌山県災害ボランティアセンター運営会議（田辺市）
- 18 日　人権研修（和歌山市）、人権フェスタ実行委員会
- 26 日　労福協まつり（和歌山城西の丸広場）

・ 11 月

- 3 日　地域フォーラム事業（未来サントラ研究所）
- 15 日　関西地区 NPO 所轄庁連絡会議・NPO 会計基準協議会関西地区会議（京都市）
- 23 日　ふれあい人権フェスタ
- 25 日　NPO 事務支援カンファレンス　講師研修（大阪市）
- 26 日　岩出市ボランティア研修　職員派遣
- 29 日　近畿労働金庫 NPO パートナーシップ制度居場所セミナー

・ 12 月

- 1 日　おもしろ環境まつり（みその商店街）
- 7 日　地域フォーラム事業（国士舘大学和歌山同窓会）
- 9 日　理事会
- 12 日　花王ハートポケット倶楽部審査会（和歌山市）
- 18 日　田辺市みんなでまちづくり補助金　審査会
- 22 日　わかやま・ひとづくり塾

・ 1 月

- 8 日　NPO 支援センターCEO 会議（岡山市）
- 14 日　県庁人権研修
- 16 日　南大阪地域 NPO 支援センター合同学習会 講師派遣（泉大津市）
- 17 日　近畿労働金庫笑顔プラス　防災講座（田辺市）
- 18 日　和歌山県災害ボランティアセンター設置訓練（田辺市）
- 20 日　和歌山市 SDGs 推進ネットワーク設立記念シンポジウム
- 21 日・22 日　職員人権研修
- 25 日　近畿労働金庫 NPO パートナーシップ制度　居場所シンポジウム（和歌山市）
- 26 日　わかやま・ひとづくり塾
- 27 日・28 日　NPO 事務支援カンファレンス講師研修（岡山市・東京）
- 30 日　地域フォーラム事業（下津 DHC クラブ）

・ 2 月

- 8 日　NPO 基礎講座（紀の川市）
- 9 日　しんぐう元気フェスタ（新宮市）
- 12 日　和歌山ライオンズクラブ助成金審査（和歌山市）
- 15 日　近畿労働金庫 NPO パートナーシップ制度　関西共通企画シンポジウム（大阪市）
- 16 日　地域フォーラム事業（ワンニャン会）
- 19 日　田辺市職員研修　講師派遣
- 22 日　NPO 基礎講座（和歌山ビッグ愛）
- 25 日　理事会

・ 3 月

- 3 日　和歌山県災害ボランティアセンター　ワーキングチーム会議
- 12 日　橋本市地域づくり活動交付金事業報告会
- 18 日　和歌山ライオンズクラブ助成金審査（和歌山市）
- 19 日　和歌山ワイズメンズクラブ学習会　講師派遣（和歌山市）

※ 2 月・3 月は Covid-19 の影響で多数のイベントが中止・延期になっています。